

まちかど通信

楽しくホットなまちの話題をご紹介します



10年前、当時15歳の自分からの手紙を読む鈴木さん（右）

栗源市民センター「さつき館」落成式・栗源タイムカプセル事業開封式

「さつき館」で振り返る10年

栗源公民館が東日本大震災により被災してから、3年半あまり。公民館の代替施設を兼ね、市民活動の拠点としての利用が期待される栗源市民センター「さつき館」の落成式が、11月29日に開催され、愛称命名者4人の表彰などが行われました。

落成式終了後は、オープン記念イベントとして「栗源タイムカプセル事業開封式」を開催。平成17年に旧栗源町が町制80周年記念事業として町民から募ったタイムカプセルの封印が10年の歳月を経て解かれました。家族や自分宛ての手紙を手にした鈴木詩織さん（沢）は「自分では覚えていませんでしたが、手元に戻ってきて感動しています」と話し、また、寄せ書きを手にした野口尚希さん（沢）は「成人式のときにみんなで書いたのを思い出しました」と懐かしそうに語ってくれました。



「さつき館」命名者を代表して賞状を受け取る佐藤真夫さん（左）



記念アトラクションでは浅黄喜楽会が神楽を奉納

聖地巡盃（水郷三都地域観光資源発掘モニターツアー事業）

水郷情緒に旨酒あり

香取市、鹿嶋市、潮来市の水郷三都を周遊するモニターツアーが11月20日に、旅行会社を対象に行われました。

今回のコンセプトは、若い女性や外国人にも人気の神社と日本酒。神事に密接した日本酒の酒蔵を巡りながら、ご当地グルメも一



▲林立する酒蔵のタンクに目を見張る参加者

緒に楽しむという企画です。参加者は、香取神宮の神職の話や杜氏の酒造りの説明を熱心に聞き、また、ツアーの魅力と課題や水郷地域の観光活性化のアドバイスをしてくれました。

西坂神社新嘗祭企画展

地域の絆ふたたび

地域のつながりや絆をもっと高めようと、西坂神社（西坂）による新嘗祭企画展が、11月23日に同神社で行われました。

初めての試みとなった企画展では、地元の瑞穂小学校と佐原第五中学校の児童生徒の書や絵画などの作品265



▲作文の題目は「今、大切なもの」「感謝の心」

点が神楽殿に展示されたほか、作文の発表会も。児童生徒本人が家族への感謝の言葉をつづった作文を読み上げると、集まった地元の人々からは大きな拍手が送られました。



平成27年(2015)1月1日号 No.211

編集 香取市役所総務企画部秘書広報課
〒287-8501 千葉県香取市佐原口2127
TEL 0478-54-1111 FAX 0478-52-4566
http://www.city.katori.lg.jp

人口と世帯

12月1日現在（前月比）

計/81,124人（- 92）
男/40,141人（- 43）
女/40,983人（- 49）

世帯数/
30,322世帯（- 12）

潮来市と耐震性貯水槽を共同設置

県境を越えた助け合い

香取市と茨城県潮来市は「飲料水兼用耐震性貯水槽共同設置に関する協定」を11月27日に締結しました。この協定は、潮来市からの申し入れにより実現したものです。

本市同様、東日本大震災で長期間の断水を経験した潮来市は、潮来市十四番地区に耐震性貯水槽の設置を計画していました。この度、隣接する香取市附洲新田地区の一部の地域においても利用できるように、協定に基づき共同で整備します。



▲両市長が固い握手を交わす（左が松田潮来市長）

あけぼの園 餅つき会

つきたてはモチモチ

昭和59年の開所以来、毎年恒例となっているあけぼの園の餅つき会。今年も11月28日に開催されました。

普段は内職などの軽作業をしたり、生活のルールを学んだりしている利用者の皆さん。お手伝いにはライオンズクラブやさつき会の皆さんがボランティアで加わり、年に1回の餅つきに笑顔で「よいしょー！」の掛け声がかかっています。つきたての餅は雑煮やあんこ餅にしてふるまわれ、皆でおいしくいただきました。



▲大きくきねを振り上げて

編集後記

ひ 人と人とのつながりを大切にしながら何事にも取り組んでいきます。(S)

つ 今年も家で餅をつき、つきたての餅はうまい！(E)

じ 正月は雑煮を食べます。(E) 女子力低下を嘆くこの頃、磨いて見せませ、自身と広報。(J)

ど いろんなことにも前向きに、かつ後ろにも気をつけてがんばります！(N)

し 知らないことが多過ぎ(汗)。つまりは知る喜びが待っているのだ！(M)

一同、ひつじに（ひつじに）働きますので、これからもどうぞ愛読ください！